

# 和歌山 縣民の友

## 刊のことは

和歌山縣知事 小野眞次

と縣民とを連結する他諸般の會合或は公私種新聞の發刊は私就の席上に於ける個々の以來の切なる念願で面接の機會もあり私共りました。又縣議會と縣民各位との意見交り上でも再三の要望も換は或程度行はれてるつた事でもありまします事は事實には相違あが諸種の事情で今日りませんが、併し是等で實現の運びに至らには人員時間距離等かつたものでありま避け難い制約があつて。ところが本日茲に私共の狙ひとする行政をその初聲を擧げる意圖の正確なる浸透縣地方行政面に於ける民の二點に於て甚だ遺憾上々義の健全なる發達の點が多いのでありま新憲法の要請する重す而して本紙は正にこ安なる部面で此點を深の缺漏を補ひ此の二點を考察するならば世論から縣政面に一道の光基礎を置く縣政の確芒を導入すべし重大なれ、私に課せられたる使命を負うて生れ出た大責務であるのであります。

發行所 和歌山縣新聞聯盟  
和歌山縣新聞聯盟  
和歌山縣新聞聯盟  
和歌山縣新聞聯盟

縣民とを結びつけよ  
和歌山縣新聞聯盟  
本會代表 小島正幸

### 縣民の心の糧として

縣議會議長 内田安吉

きものでないといふこととであります。即ち廣く縣民一般の方々に之を十二分に利用して貴つて縣政運営の上にならざる推進機關ならしめたいと思ふのでありま。最近本職の新聞社以外に學校新聞の組合通を諒得せられ諸君の熱意によつて本紙の健全なる育成に力を寄せられ所期の使命達成に遺憾なき協力を賜らんことを切望致します。

小野さんは民主縣政をにしたい思いもよらぬ新運営するため今度ば鮮な感覺が表現されてきた。縣民から新聞を發行することになつた。發行するに本紙縣民の友は、その創刊第一號である。いんや總ての調査や人員において機構が完備してゐる縣民の友は、新聞を出すとあつては、學問や會社から物笑いの種となつては、第一小野さんの面目にもかかわるわけになる。この場合、いんや新聞とは決して思つた高遠の理想を指すものではなく、ウツンと砕けて民家に接觸し、投書や寄稿によつてありのままに縣民の聲を聴くと共に懇切な回答を與え同時に縣政の発展を期す。

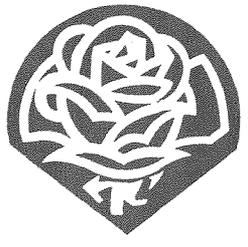
吾々は少年時代から活以上強いものがある。字によつて知識づけられ新聞が社會の公器として、教化訓育されて來て尊重され、恰も吾々のために活字に對するの食生活に於ける米麥の信賴感、云ふか、活字と同様に精神生活の重子から受ける教化力と要な糧である以上、其ふか文字なり文章な處に盛られた内容は直ぐが活字化された場合に吾々の血となり肉の必要が論議された。小野知事の一書い願して

### 県民の友40周年

昭和22年9月21日発行の第一号

県知事選挙 10月25日投票日

選んでください あしたの和歌山



# 経済活性化に向け 過去最大規模の九月補正予算 一般会計一八七億一、七〇〇万円を計上



南紀白浜空港のジェット化、京奈和自動車道、紀勢自動車道、紀勢本線の特急「くろしお」号新大阪駅乗り入れなど、懸案であった高速交通網の整備が実現に向け大きく前進。桃山工業団地への企業2社の進出決定、紀南の海洋開発マリノベーションの地域指定と本県は今、「テクノ&リゾート和歌山」の実現に向け重要な局面を迎えています。

そこで今回国が内需拡大のための緊急経済対策予算を計上したことを受け、県でも地方交付税、国庫補助金の増額や県債を積極的に活用することで、公共事業、特に道路整備を中心とし、当初予算をさらに充実させた過去に例を見ない大型の補正予算を計上し、九月県議会に上程しました。

その主なものは次のとおりです。

## 公共投資の大幅追加

一八七億一、七〇〇万のうち約九四％一七六億七、〇〇〇万円が公共投資。正に活性化を目指した内需拡大策に沿った大型補正予算といえる。

### ○公共事業等

国道31号本宮町請川～渡瀬間道路改良、国道371号龍神村広井原橋、県道と歌山橋本線ほか道路の改良、拡幅など58カ所。その他河川、港湾、砂防、林道、農道整備などで特に道路関係に七二億六、六〇〇

万円約四〇％と、道路建設に重点を置いている。

### ○施設整備等

社会福祉施設に防火用スプリンクラーの設置、橋本高校の教室増設のほか、沿岸漁場整備開発、水田農業確立対策推進、自然公園施設整備などの事業で六十三年度分を前倒し六十二年度に実施。

### ビッグプロジェクトの始動

○「和歌山マリナー・シティ」の建設に向け、港湾計画の一部変更等諸条件整備のための調査。

対象とした職業能力の再開発訓練の実施など。

## 健康・福祉

新たに一歳六カ月児の精神科密健康診査の実施、精神薄弱者シヨートステイ施設建設補助などのほか、成人病、老人保健などの充実。

## その他

田辺・西牟婁地方の「紀の国黒潮国際観光モデル地区」の推進、企業誘致特別キャンペーンのため

## 大資源体験しませんか

山村、その恵まれた資源を多くの人にPRするため龍神村で「紀州の山村大資源博」を開催します。ぜひご参加ください。

▼11月6日 開会式(村民体育館・12時) 資源映画祭(村民体育館・午後12時40分・「イタズ」ふるさと上映・ゲスト＝桜田淳子) 夜なべ小屋(村民センター・午後6時)

▼11月7日 衛星テレビ討論会(村民体育館と東京・午前9時・ゲスト＝宇江敏勝)

森林資源オリエンティング(護摩壇山周辺・午前9時・定員100人) めざまし回覧翼・ヘリコプター試乗体験(村民広場・午前11時・定員200人) 資源音楽会(村民体育館・午後1時・ゲスト＝古谷哲也とハッピートークほか) 産品交流会(村民センター・午後5時30分)

緊急ミニ・セミナーの開催、サザエ放流初期減耗原因研究、御坊市と美山村に建設予定の歴史民俗資料館建設補助など。

基盤整備と県民生活全般に及ぼす投資効果などを考え、道路に重点を置いた補正予算というのが最大の特徴だが、21世紀をにらんだビッグプロジェクトの始動、経済、福祉、健康、文化と当初予算をより充実したものとなっています。

▼11月8日 郷土文化の祭り・資源シンポジウム(村民体育館・午前9時・記念講演＝立松和平ほか)

そのほか、期間中を通じて、樹木パフォーマンス、山村紹介、資源の広場、産品売りますなど多彩な催し。

お問い合わせは、県ふるさとふれあいフェア実行連絡協議会(事務局・県庁山村対策課)へ



# 神々のかたち

## 県立博物館特別展

■会期

10月1日～11月23日（毎週月曜日  
休館）午前9時30分～午後5時  
（受付4時30分まで）

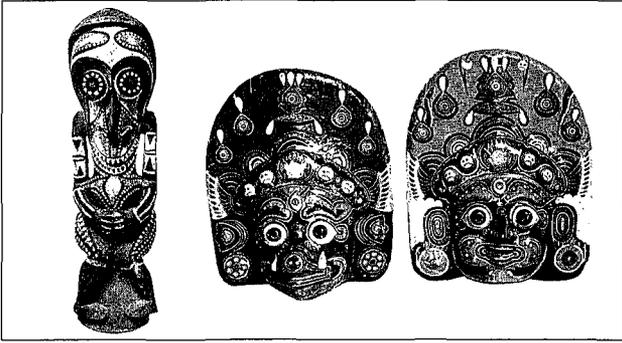
■場所

和歌山城内二の丸 ☎(0734)  
2312467

■入館料

一般500円 大・高生300円  
小・中生100円

団体割引、身体障害者割引あり



遠い昔から、宗教的な舞踊や演劇に使われて来た仮面と神像。それはそれぞれの民族が、自然と共に生き、自然を恐れ、尊ぶ素朴な信仰心が生んだ神の姿であり、

神と交わるための仮面であった。今回国立民族学博物館が開館10周年を記念し、膨大な収蔵品のなかから200点をよりすくりに、関西ではじめての巡回展をするものです。ぜひご家族連れでお見逃しのないように……。  
おもな出展国は、オセアニア、アフリカ、アジア、アメリカ諸国から27カ国。

### 同和連載

## 十五歳の青春を

### 明るくして！

かつらぎ町妙寺中学校 三年 広岡美佐

「権」これは、人が生まれた時から、いいえ、地球上に人類があらわれた時からあるのです。それが一部の人の権力や経済力で、多くの人々を長い歴史の間、おさえつけてきたのです。また、その一部の人が、自分をそえらひという考えが人種の差別を生んだのです。日本では、今やかましくさげばれている部落差別の出発点が、身分制度という権力の下で作られたきまりから始まったのです。知識ある人々は、その矛盾を知って、人間の平等を訴えてきました。それは強い権力の下での長い苦しい戦いでした。

「私」たちの地域では子ども会があと週に一回集まっています。私は私の知らない過去の歴史を、この子ども会で、くわしく勉強して知ることができたのです。差別、これは本質的に異なったことを分類するために使われる言葉です。それが、その時代の権力によって、むりやりに作られた「部落」という集団だけで差別をしているのです。私は、人類、人間というものは、本質的に日本中だれも差がないと思います。そして、幸福に生きること、みんな平等です。

私たちが子ども会では、先生や父母が本当にしんげんにこの問題を勉強して、私たちに正しく教えてくれています。でも、この問題は、私たちがいくら勉強しても私たちが正しく理解しても、それで解決することはありません。日本中の人々が、私たちと同じように真剣に取り組んで、正しく理解してくれてこそ成果があるのです。生きていく私たちが、この私たちの心を日本中の人々が正しく理解してほしいのです。長い歴史の間につちかわれた日本人特有の優越感、そうたやすくとけることはいけません。でも、私達は、今すぐにも、この差別をやる心を日本中からなくしてほしいのです。

ある人は、世間ていを気にしては生きていけないといいますが、十五歳の私の小さな心は、この言葉にすなおにうなずくことができます。私たちがの未来を、幸福にするのは私たちの努力だけだと思えます。でも、私たちの努力だけでは、できないことがあるのです。私は、私が努力するのと同じように、みんなも努力してほしいと思えます。最近、とくにマスコミにでてる、南アフリカ共和国の人種差別をテレビで見た時かわいそうな黒人の姿に私は涙を流します。肌の色で生きること差別されている人達、これをゆるすことができません。私と同じように、世界の人々が、毎日、このニュースを見つめているのです。私は、きっとこの問題は、世界の人の美しい正しい心で解決されることだと思えます。「私」たちの地域の問題も、日本人の美しい正しい心が必ず解決してくれることでしょう。私は一日も早くその日がくることを望んでいます。そして、十五歳の心から、暗い影を払ってください。日本中の世界中の十五歳の青春にみんな平等に楽しさを明るさを、与えてください。

## くらしのダイヤル

専用電話

- 夜間・休日に急病になったときは  
救急医療情報センター……………☎(0734)26-1199
- こどものしつけなどで悩んだときは  
ヤングパパ・ヤングママ電話……………☎(0734)25-8988  
ヨイパパ・ヨイママ電話……………☎(0734)32-4188
- いじめで困ったときは  
伊都地方……………☎(0736)32-2000  
那賀地方……………☎(0736)63-0200  
和歌山地方……………☎(0734)31-9432  
海草地方……………☎(0734)24-7830  
有田地方……………☎(0737)63-0700  
日高地方……………☎(0738)22-2000  
西牟婁地方……………☎(0739)22-7867  
東牟婁地方……………☎(0735)21-7867
- 青少年のいろいろな悩み事は  
ヤングテレフォンコーナー……………☎(0734)25-7867
- 老人やその家族のいろいろな相談は  
シルバー110番……………☎(0734)23-1166
- 健康と疾病については（木曜日午後1時～3時）  
県民健康相談室……………☎(0734)24-5101
- 悪質商法相談電話……………☎(0734)23-4194
- 暴力についての相談は  
暴力相談コーナー……………☎(0734)24-0110
- 極左暴力集団の情報については  
極左110番……………☎(0734)23-0110
- 覚せい剤についての相談は  
覚せい剤電話相談室……………☎(0734)25-4615  
その他県政へのご意見ご相談は☎(0734)32-4111  
（代表）各担当課室へお気軽に電話ください。

# 友に歩んだ40年!

県民の友は昭和22年9月21日に第一号が発行されてから40年。今月号で第590号になりました。

復興の時代、大災害、高度成長期。

うれしいニュース、楽しいニュース、時には悲しいニュースも。

今月は、県民の友で和歌山県のこの40年を振り返ってみました。

## 配給のお知らせ

### 昭和20年代前半

昭和22年の発刊当時、人々は食糧や生活物資を確保するのに必死の時代だった。昭和22年9月21日発行の第一号には水産物、農産物の配給、放出のお知らせ、飽食の時代では考えられない、せつない記事で埋まっている。

発刊一周年の昭和23年9月21日号。初めて写真が登場。すすきの写真でタイトルは「秋」。大変な時代のなかにも、人々の文化を求め、やさしい気持ちを感じられる。

## 大水害と移民の時代

### 昭和20年代後半

戦争による荒廃からようやく立ち直ったこの頃、次々と大水害が本県を襲った。昭和27年6月ダイナ台風、7月集中豪雨。なかでも昭和28年7月18日県下を襲った大水害はすさまじく、昭和28年8月15日号によると死者602人、行方不明509人、重軽傷者8、428人、家屋の全壊流失約8、000戸、半壊約45、800戸、被災者数255、000人、被害額700億円。大小の河川が大はんらん。都市や農村は泥の海と化した。

田畑を失い海外への移住を希望する人も多かった。戦後の移民は昭和27年に再開されているが、本県からは昭和35年までに1、714人をブラジル、パラグアイなどに送り出している。(国際協力事業団の資料による)

「災害は忘れた頃にやってくる」私たちが忘れてはいけない、いまわしい記憶だ……。

## 財政再建の時代

### 昭和30年代

大水害による被災からの復興に全力を注いだ昭和28年から30年代前半。この頃になると紙質も向上、文化的な行事のお知らせも多く登場してくる。

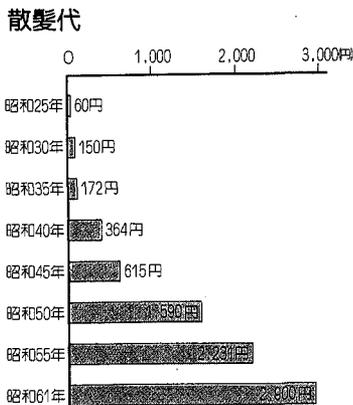
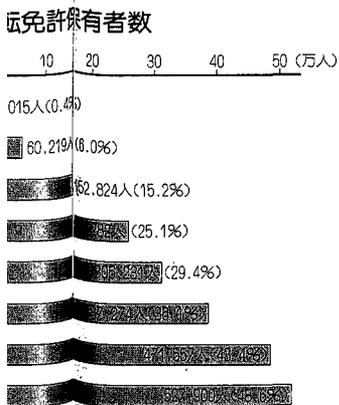
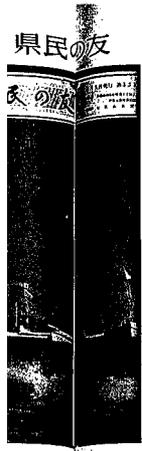
大水害の復興費に多大な経費を要した本県は、昭和34年度末には5億円以上の赤字を抱え、昭和35年8月1日、財政再建団体となり予算面で窮乏を思いを致す。

しかしこの昭和30年代には、国道42号の全線舗装工事、北部臨海工業地帯建設工事などの事業を計画し、実行されてきた。

昭和28年8月15日号  
大水害を報じる



昭和32年1月号 発行10年の新年号





昭和41年1月号  
はじめてのカラー表紙

## 黒潮国体と オイルショック

昭和40年代



昭和46年1月号 黒潮国体の年

予算面で窮乏な思いをする。しかしこの昭和30年代には、国道42号の全線舗装工事、北部臨海工業地帯建設工事などの基盤整備に努めている。昭和39年には東京オリンピック。昭和39年10月号に「聖火」が県内を走る風景が登場。国をあげてのオリンピック歓迎ムードがうかがえる。

昭和41年1月号には初めてカラー写真が登場。この年から毎年新年号がカラーになる。

昭和42年1月号に国体誘致の話が初登場。昭和43年8月号で国体開催正式決定の記事。この頃から国体の記事がしばしば登場する。昭和46年になると国体一色。そして9月5日〜8日夏季大会が、10月24日〜29日秋季大会が開催された。県勢は男子総合で優勝、天皇杯を獲得。女子総合も2位。輝しい成果を残した。

国体にあわせ、体育施設、関連施設も整備。指導者の育成にも力を注ぎ、この面でもすばらしい成果を残した。

「国体の真の目的は、国体が終わったあとにこそある。」(昭和46年11月12月合併号)

昭和48年オイルショックが日本を襲う。狂乱物価、物資不足に悩んだ頃。オイルショックは県民の友をも直撃。昭和49年2月3月合併号から紙質がぐんと落ちる。

## 高度成長から 安定成長へ

昭和50年代

昭和52年4月17日、18日那智高原で全国植樹祭を開催。「動」の国体とは対照的に人々の心にやすらぎの芽ばえをはぐくむ緑の祭典。この頃から、日本は激しかった変化の時代に別れを告げ落ち着きのある安定の時代へと進む。

昭和57年7月27日自然博物館開館。昭和58年7月17日串本町で全国豊かな海づくり大会開催。昭和59年4月18日中国山東省と友好提携締結。産業基盤の整備や社会福祉の充実などとともに、教育・文化にも力を注ぐ時代。

県民の友は、昭和58年5月号から毎月カラー。発刊の頃の更紙と比べると時の移り変わりを感ずる。

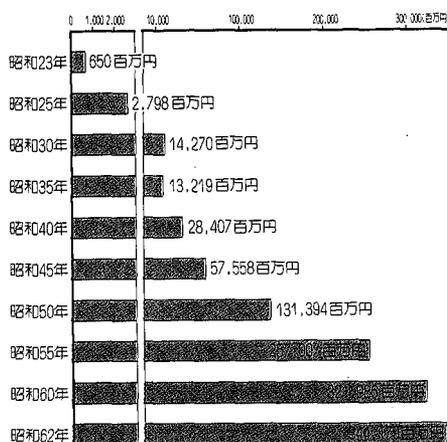
21世紀まであと14年。

ふるさとの移り変わりを伝えながら、初心を忘れず21世紀の住みよい和歌山をめざして県民のみなさんと、友に歩んでいきたいと思えます。

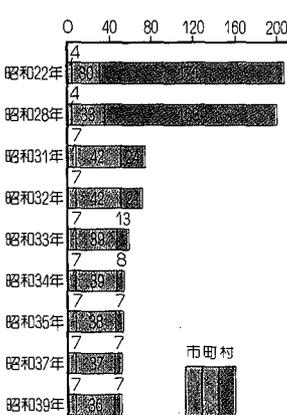


昭和52年1月号 全国植樹祭の年

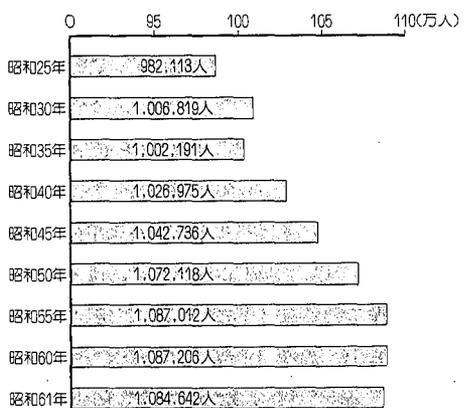
### 県予算（一般会計）



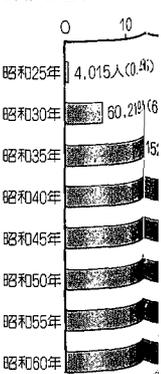
### 市町村数



### 県人口



### 県内運転免許



640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

# おしらせ

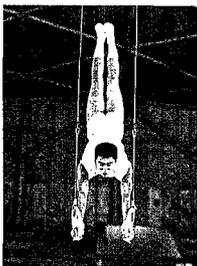
## 募集

### スポーツ写真募集

テーマ 和歌山県のスポーツに関するもの  
応募資格 県内在住、県内に通勤通学をしている方  
中学生の部と一般の部

サイズ カラー、白黒ともキヤビネサイズから半切まで(組み写真可)

応募点数 制限なし  
申込 11月8日までに県教育庁保健体育課内県体育協会事務局 ☎(0734)3314408、または11月5日～8日県体力開発センター ☎(0734)3117173へ  
くわしくは申込先へ



### 青年海外協力隊員募集

開発途上国の国(VOLUNTEER)に加してみませんか。  
募集期間 10月15日～11月30日

### 募集説明会

- ▽11月9日 紀南文化会館
  - ▽11月10日 伊都県事務所
  - ▽11月20日 県民文化会館
- ※各会場とも午後6時30分～  
くわしくは県庁青少年婦人課へ

### 成人病検診推進キャンペーン

●標語の募集  
内容 成人病検診の受診を呼びかけるもの

対象 県内に住所を有する方  
応募 ハガキに標語(1枚に1作品、住所、氏名、年齢、職業(学校名)、電話番号を記入し、和歌山市の方は県庁成人病対策室、その他の方は所轄の保健所へ(11月10日必着)  
●がん体験談の募集

### 県営住宅空き家入居補充欠者

①の団地 用紙配布 10月5日～13日  
県庁正面玄関内所、県庁住宅課、各土木事務所(和歌山土木事務所は除く)

申込 10月14日、15日 県民文化会館  
②の団地 用紙配布 10月12日～26日  
岩出土木事務所、那賀郡内町

役場 申込 10月27日、28日 岩出土木事務所  
くわしくは用紙配布先へ

内容 胃がんと子宮がんと、乳がんが、がん検診により早期発見され、治ゆした体験から検診の必要性を呼びかけるもの  
応募 体験談(400字詰め原稿用紙2枚以内)に住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入

し、県庁成人病対策室へ(11月10日必着)  
くわしくは応募先へ  
10月26日は原子力の日  
原子力はみんなのエネルギー。いまこそ信頼に応える確かさで貢献します。

団地名	所在地	種別	募集戸数	家賃月額	間取り			
雄 漢	和歌山市男野芝丁1-1	1	15	4,200円～7,000円	2 D K (浴室無)			
今 福 第 一	今福二丁目3-45							
今 福 第 二	今福三丁目6							
西 浜	西浜一丁目6-40				3 D K (浴室有)			
城 北	八番丁5							
川 永	島51-2外							
千 旦	井ノ口562外							
千 旦 第 二	祢宜1378-1	3	24,500円					
①	鴨 沼	那賀郡岩出町吉田392-8	1	13,800円～15,400円	2DK・3DK (浴室有)			
			2	5		10,700円・12,000円・14,200円		
	栄 谷	和歌山市栄谷60	1	○1	24,000円	3 D K (浴室有)		
				●1				
				2			5	17,000円・18,000円
				1			20	39,000円～43,000円
	西脇グリーン	和歌山市西庄155	2	5	28,000円・30,000円	3 D K (浴室有)		
				○1			20,000円	
	延 時	和歌山市延時130	1	5	26,500円・30,000円	3 D K (浴室有)		
				2			3	20,000円
和 歌 山 東	和歌山市太田103-1	1	3	44,000円	3 D K (浴室有、た だし浴槽無)			
			2			10	22,500円～28,000円	
②	長 山	那賀郡貴志川町長山 277-5 277-6	1	20	34,500円～40,000円	3 D K (浴室有、た だし浴槽無)		
			2	10	22,500円～28,000円			
			●1	24,000円				

(注) 募集戸数欄の○は視覚障害者用、●は聴覚障害者用

「3歳児の世界」  
放送日 毎週日曜午前10時  
45分(再放送 毎週木曜日  
午後5時)

### テレビ児童相談

### 「ごあんない」 パートで働きたい方 採用したい方

「和歌山パートバンク」を開  
設します。  
開始日 10月8日 午後1時  
所在地 和歌山ステーション  
ビル4階(和歌山市美園町)  
☎(0734)2218010



「ごあんない」  
パートで働きたい方  
採用したい方

「全国防犯運動」  
10月11日～20日

### 防犯は

日ごと 家ごと 地域ごと

10月11日～20日

10月11日～20日

10月11日～20日

10月11日～20日

10月11日～20日

**住宅を分譲します**  
滝内団地(田辺市新庄町) 7戸  
園部グリーンハイム(和歌山市園部) 5戸  
せせらぎ台団地(貴志川町園主) 5戸  
木ノ本ニュータウン(和歌山市木ノ本) 15戸  
くわしくは県住宅供給公社 ☎(0734)2516885へ

**自然愛護テクノロジ**  
友ヶ島フレンドリーハイイク日時 11月8日午前10時50分  
集合場所 野奈浦港広場(和歌山市友ヶ島)  
申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、県庁観光課へ(先着600名)  
受付 当日午前10時から集合場所  
※保険料一人10円必要  
くわしくは申込先へ

**サニーマンの奥さんへ**  
厚生年金保険や共済組合の加入者に扶養されている20歳以上60歳未満のサラリーマンの奥さんは、第3号被保険者として、国民年金に加入することが義務づけられています。  
届け出は、原則として2年以上さかのぼることができません。新制度が発足した昭和61年4月に該当していた方は、昭和63年7月までに届け出をしなければなりません。放置していると、将来の年金額などのうえで不利益になりますのでいままさに手続きを済ませてください。  
くわしくは、県庁国民年金課、各市町村国民年金係へ

**賃貸マンション経営をお考えの方へ**  
住宅・都市整備公団では、手持ちの土地(借地も可)で賃貸マンションを経営する場合、同公団が代わって建設し、これを譲渡する「民間賃貸用特定分譲住宅制度」を行っています。  
説明日時 10月21日午後2時  
場所 和歌山市民会館  
なお、地域制限があります。  
くわしくは県庁住宅課へ

**放送 テレビ和歌山**  
各月のテーマ 10月「心と体、11月「ちえとことば」、12月「健康と発育」、1月「あそびと友達」、2月「しつけと家庭環境」、3月「わが家の子育て」  
賃貸マンション経営をお考えの方へ

# 催し

## 県民文化会館 ☎(0734)36-1331

劇団四季ミュージカル「ジーザス・クライスト・スーパースター」 10月8日 午後6時30分 大ホール S席3,800円 A席2,800円 B席1,500円

## 県立近代美術館 ☎(0734)36-1331

太平洋を越えた日本の画家たち展10月18日まで 大人500円 高・大生400円 小・中生150円 県美術展覧会 第I期=11月5日～9日、第II期=11月12日～16日

## 県立自然博物館 ☎(07348)3-1777

講演「雲南から日本への自然植生」 講師 同志社大学講師 光田重幸 11月3日 午後1時～ 中1以上 定員60人

## 植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「一年生草花と球根の育て方」10月18日 「菊の作り方」11月8日 いずれも定員40人(先着順) 花と緑の写真展 11月5日～9日 ウッディフェア 10月17日、18日 菊花展 10月17日～11月15日

# お気軽にどうぞ

**交通事故相談**  
〔常設相談〕月～土曜日  
場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所  
〔弁護士による相談〕▶県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1時～2時 ▶東牟婁県事務所 毎月第1、3土曜日 受付 午前9時～10時  
〔巡回相談〕▶西牟婁県事務所 10月20日 ▶伊都県事務所 10月28日 ▶日高県事務所 11月2日 受付 午後3時まで  
**県民相談**  
〔常設相談〕月～土曜日  
場所 県民総合相談室、各県事務所  
〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日 受付 午前11時まで 場所 県民総合相談室  
〔移動相談〕▶上富田町大谷総合センター 11月10日

## 電波で結ぶあなたと県政

**テレビ (テレビ和歌山・NHK)**  
きのくに'87 金曜日 午後10時～ (WTV) (再)日曜日 午前11時～  
県民チャンネル 月～土 午後8時55分～ (WTV) 日曜日 午後7時55分～  
豊かに生きる 土曜日 午後6時～ (WTV)  
くらしのチャンネル 月～金 午前11時40分～ (NHK) (再) 午後1時25分～

**ラジオ (和歌山放送)**  
県民マイク 土曜日 午後2時40分～  
県庁だより 月～日 午前11時40分～ (再)月～金 午後5時40分～ (再)土・日 午後6時～

北方領土 返るまで消すな 領土に世論の灯

# おしらせ

県庁・県教育庁は

**中小企業の経営や技術情報**  
報を無料で提供します。  
中小企業情報センター(和歌山市西汀丁) ☎(0734)31-7662  
お気軽にご利用ください。

**中小企業事業転換等 能力開発給付金制度**  
事業の転換及び多角化に必要な社員教育を行う雇用保険適用中小企業事業主に給付金を支給します。  
給付額 教育訓練に要する費用や受講期間中の賃金の3分の2  
申込 事業転換等能力開発計画書を県庁職業訓練課へ  
くわしくは申込先へ

**10月は里親推進強調月間です**  
里親制度とは、家庭の事情により親もとて暮らせない子どもを、一般の家庭に引きとり健やかに育てようとするものです。  
くわしくは中央児童相談所、紀南児童相談所、各福祉事務所へ

**10月25日の県知事選挙投票日**  
に、仕事などで投票できない方は前もって不在者投票ができます。  
くわしくは各市町村選挙管理委員会へ

**合同行政相談所の開設**  
日時 10月16日 午前10時～午後4時  
場所 丸正百貨店5階特別室 参加予定機関 和歌山地方方法務局、大阪国税局税務相談室、和歌山分室、近畿郵政監理局、和歌山労働監察室、和歌山労働基準局、近畿地方建設局、和歌山工務事務所、N.T.T.和歌山支社、和歌山県、和歌山県警察本部、和歌山東・西社会保険事務所、和歌山市、和歌山行政監察事務所

**「中退金を」存じますが**  
中小企業退職金共済制度は、退職金制度をもつことが困難な中小企業に、国の援助で大企業と同じような退職金を支払えるようにすることを目的とした制度です。  
くわしくは、県庁労政課、中小企業退職金共済事業団 ☎(06)536-11851へ

**消防設備士講習**  
新宮会場 11月11日(第4、7類)  
田辺会場 11月12日(第4、7類)  
和歌山会場 11月24日(第1、2、3類) 11月25日(第4、7類) 11月26日(第5、6類)  
申込 10月20日～22日 申込用紙持参で県庁消防防災課へ

**10月5日～14日 県では道路標識の設置状況や表示内容の点検と管理の徹底を図っています。**  
道路標識についてのご意見ご要望は県庁道路維持課、各土木事務所まで

**最低賃金改正**  
1日 3,580円  
1時間 448円(時間給)  
くわしくは和歌山労働基準局賃金課 ☎(0734)221-171、各労働基準監督署へ

**難聴者のための要約筆記ボランティア教室**  
日時 11月8日 午後2時～午後4時30分  
場所 湯浅社会福祉協議会(福祉文化センター)  
参加費 無料  
申込 和歌山要約筆記会 ☎(0734)45-5757へ

**参加しよう**  
補聴器の使い方説明会  
日時 10月23日 午後2時～午後4時  
場所 有田県事務所  
くわしくは県庁障害福祉課へ

各県事務所総務課へ(郵送は不可)  
くわしくは申込先へ

**後期技能検定 実施職種** 鉄工他24職種  
試験日 実技 12月4日 3月7日のうち指定する日 学科 2月7日、14日、21日のうち指定する日  
申込 10月1日～13日 県職業能力開発協会 〒640和歌山市砂山南三丁目3-38 和歌山

**フリーニング師試験**  
試験日 11月20日  
試験場 県民文化会館  
試験科目 学科 衛生法規、公衆衛生に関する知識 実地 洗濯物処理に関する知識及び技能  
受験料 7,000円  
申込 10月16日～24日(当日消印有効) 居住地を所轄する保健所へ  
くわしくは県庁生活衛生課、申込先へ

734)45-5757へ  
くわしくは県庁障害福祉課へ

**薬と健康の週間**  
10月17日～23日  
薬の正しい買い方、使い方、保管の仕方、知識をもとう!

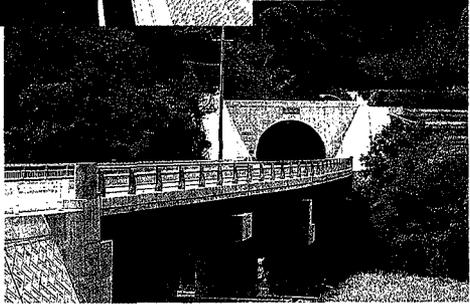
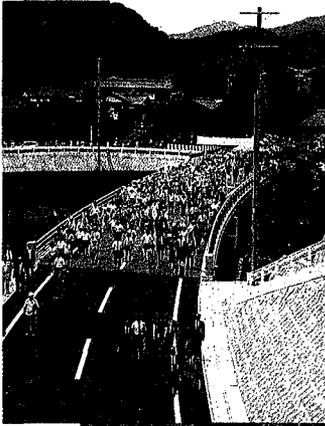
**設備近代化資金の申込**  
設備貸与資金  
対象 設備の近代化をしたいが、自己資金の調達に困難な県内の中小企業の方  
申込日程 10月19日 東牟婁県事務所、西牟婁県事務所 10月20日 県農協連合会湯浅支所(湯浅町) 10月21日 伊都県事務所、那賀県事務所、10月22日 日高県事務所、県民文化会館 10月23日 県民文化会館  
くわしくは県庁商工企画課、産地振興課、各県事務所産業課へ

技能センター内 ☎(0734)25-4555へ  
くわしくは県庁職業訓練課、申込先へ

### 祝 奇絶峡バイパス開通

田辺市から奇絶峡、龍神村、高野龍神スカイラインへと続く県道田辺十津川線。この道路は、国道42号とならび紀南へ観光客を呼ぶ主要幹線。この道路の最大の難所となっていた田辺市秋津川付近。この地区に、奇絶峡と秋津川をトンネル(537メートル)と橋(57メートル)で結ぶ奇絶峡バイパスが開通、9月3日開通式が行われました。

バイパスの開通により旧道に比べて距離で500メートル短縮、幅員も8メートルに広がり大型車の通行も楽々。交通の難所が一つ解消されました。(田辺市)



笑顔いきいきナイスショット!

8月27日、全国で初めてのゲートゴルフ場が完成しました。ゲートゴルフは、ゲートボールとゴルフを合わせたスポーツで美里町から全国に広まっていったもの。現在、町内だけでも約400人が楽しんでます。

とんぼが風の中から応援している様な、のどかな景色の中でプレイするお年寄りも元気がいっぱい。

美里町以外の方でも、また、一人でも申し込めます。

くわしくは ☎(07349) 5120  
21 日本ゲートゴルフ協会へ

(美里町)

### わかやま



### 青洲の銅像完成

「華岡青洲」といえば、世界最初の全身麻酔による手術を成功させた世界外科医学界の先覚者。

その青洲生誕の地・那賀町で、8月28日、銅像と顕彰碑の除幕式が行われました。

これは青少年のすこやかな成長と、その偉業に感謝し、立志発奮することを願って寄贈されたもの。銅像は「第二の青洲」が現れるのを待っているかの様に、居ずまいを正して座っています。

(那賀町)

### 遷華岡青洲先生銅像除幕

1987.8.28 医聖華岡青洲をた

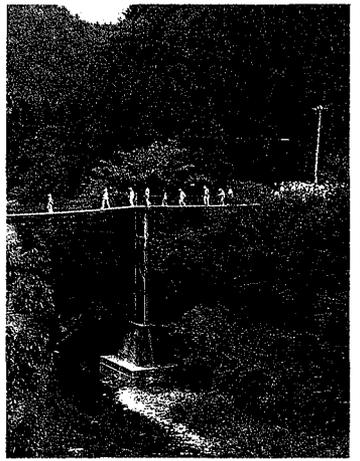


### 龍神温泉 LOVE&湯

昭和49年「高野町石道」コースから始まった自然愛護テクコロジも第51回目。

今回の舞台は8月26日の龍神温泉。あざやかな緑とさわやかな空気。スタート直後のつり橋はスリル満点。途中でしゃがみこんでしまった人も「下見たらあかん」の声にこわごと渡っていきました。

龍神の自然と歴史を訪ねる7.5キロメートルのコースを楽しんだ後は美人湯として名高い龍神温泉に入り大満足。みんな美人になったかどうか...。(龍神村)



### 今も流れる小田井の水

大畑才蔵

「いつてくるぞ、和歌山へ」じつと考え込んでいた才蔵が意を決した様に立ち上がった。元禄九年(一六九六年)三月のことである。



再三断り続けた役所動機だが、いったん決めたからにはと人が変わった様に働き、どんな仕事もあざやかに進めた。また、権力にひるむことなく農民の立場を考ふる事も忘れなかった。以前、才蔵の力を利用して地位を得た者への疑念や、バカにしたような安月給への不満と戦いながら、才蔵が全力をつくしたのが小田井農業水路の建設である。高野口町から打田町までの紀ノ川沿岸、計千百を潤す水路である。延べ二十万六千人を動員し、五年の歳月を費したもので、悪条件の中の難工事だった。

「精密な機械もなかった時代に、これ程のこまやかな配慮と工夫をこらしているとは——」この水路の改修工事にあたった技師たちは脱帽したらしい。才蔵の心血を注いだ水路はもう姿を変えてしまったが、農民を愛した才蔵を慕う農民の心は、今も変わっていない。

県民の友を担当していると、企画案取材、レイアウト、校正と一カ月があつという間に過ぎてしまっています。

今月は、これまで発行して来た県民の友から、戦後40年の和歌山を介しましたが、一枚ごとの紙面の中に先輩たちの苦労が読みとれます。私たちも、県民の方々と県政のパイプ役という広報の初心を忘れず、がんばっていききたいと思えます。